

名古屋大学文学研究科「人文系博士課程留学生の研究支援と教育の高度化プロジェクト」提携
博士課程留学生の研究支援と教育の高度化プロジェクト

合同研究集会のお知らせ

プロジェクトと研究集会の概要

本プロジェクトは、2007年9月～2008年3月の半年間にわたり、名古屋大学のプロジェクトと提携しながら、教員と博士課程留学生の相互訪問をとおして、合同での教育・研究の実践的な活動を行なうというものです。

その柱となるのが、期間中双方の大学で1回ずつ（計2回）開催される研究集会で、そこでは両大学の教員によるレクチャーと、留学生による研究発表・討論および教員による相互指導が行なわれます。1回目は12月初めに名古屋で開かれ、本学の院生3名も研究発表をしました。今回は2回目で、今月22-23日の両日、名大から教員と院生数名が来訪します。

今回の講演は、初日に本学の藤本幸夫先生による「捷解新語について」、2日目に名大の宮地朝子先生による「形式名詞の文法化にみる日本語の歴史と構造」です。どちらも日本語の歴史的展開と関わるテーマとなりました。研究発表は両大学から3名ずつの計6名によって行なわれます。

来聴自由、討論への在学生の参加も歓迎ですので、お誘い合わせのうえ、ぜひ御参加ください！

プログラム

2/22 (金)	プラザ棟1Fプラザホール	2/23 (土)	1号棟5F1501教室
13:10	開会		
13:15-14:45	講演 藤本幸夫氏 (麗大) 「捷解新語について」	10:30-12:00	講演 宮地朝子氏 (名大) 「形式名詞の文法化にみる日本語の歴史と構造」
15:00-15:45	発表 廉美蘭 (名大) 「文末助詞『ね』の意味について —『よね』との対照を中心に」	13:10-13:55	発表 金ウンソク (麗大) 「『捷解新語』における二人称代名詞の研究」
15:45-16:30	発表 丁仁京 (麗大) 「geosidaの持つ二つの機能について」	13:55-14:40	発表 汪宇 (名大) 「言語使用と再帰代名詞」
16:35-17:20	発表 朴映信 (名大) 「文の構造からみたミ語法 —『～ツツ』形式との比較を通じて」	14:50-15:35	発表 方斐麗 (麗大) 「中国語の推量表現—“大概”と“好像”を中心に」
17:20-17:30	講評	15:35-15:45	講評・閉会
18:00	懇親会		